

令和4年度 横浜市幼保小連携推進地区事業

西区 東地区 活動報告

東小学校
野毛山幼稚園



子どもの育ちと学びをつなぐ幼保小の連携 ～遊びこみから学びへのスムーズな接続～

テーマについて

幼保小交流は毎年実施している。小学校入学に向けての接続において成果をあげてきた。しかし、これまでの交流は、園が小学校を訪問することが中心で、小学校側が園の活動への理解を深める活動は少なかった。そこで、園と小学校がお互いに関連を意識しながら平素の指導を行っていくことで、遊びこみから学びへの接続がさらにスムーズなものとなるのではないかと考えた。

今年度力を入れたこと

お互いの名前がわかるような相手意識をもった活動を行う。

個のかかわりを大事にして、意図的に交流を行っていくことで、子どもも大人も中身のある交流をしていく。

	園・校名	担当者名	園・校名	担当者名
	東小学校	中村 聖 熊谷 淳子	聖母幼稚園	鈴木 千香 岡野 まりも
	野毛山幼稚園	酒井 大志		根岸 はるか

月	行事・活動等	内容
4		
5		
6	第1回担当者会（西前小学校） あさがおの苗のプレゼント 授業参観（東小学校）	今年度の交流計画についての意見交換 現1年生についての情報交換
7	幼稚園・保育園・小学校教育連携研修会 保育参観（野毛山幼稚園）⇒中止 全体研修会（東小学校）	講演会
8		
9	運動会招待状配付⇒中止 （野毛山幼稚園、聖母幼稚園）	招待状配付 各幼稚園での交流⇒中止
10	どんぐり拾いで交流（野毛山幼稚園） 東小学校運動会への園児参加⇒中止 生活科でのなかよし交流会の招待状配付	野毛山公園で交流 かけっこへの参加 参加賞の配付⇒中止
11	生活科でのなかよし交流会・東っ子スタディに園児招待 （1年生と聖母幼稚園・野毛山幼稚園園児） 野毛山幼稚園との交流延期	学校探検、秋を感じる遊び・「くじらぐも」音読劇等を通じた交流
12	東っ子スタディに園児招待、体験⇒中止	東っ子スタディ見学、体験⇒中止
1	生活科でのなかよし交流会・東っ子スタディに園児招待 （1年生と野毛山幼稚園園児）	
2	第2回担当者会	ブロック交流活動の振り返り
3		

あさがおの苗をプレゼントしよう

あさがおの芽が出たよ。



たくさんあるから
プレゼントしよう



交流について

自分たちがしてもらったように、幼稚園の友達と交流し、あさがおの種を渡したいという気持ちを入学当初から持っている児童が何人かいました。これまでの交流の経験から、自分たちも同じように幼稚園の友達と交流したいと思っていたようです。その児童が中心となって生活科の学習を通して交流の計画を立てていきました。

あさがおの苗をプレゼントしよう

野毛山幼稚園に
プレゼントしに
きたよ



野毛山幼稚園を卒園した児童が
中心に活躍しました。



あさがおの苗をプレゼントしよう



交流について

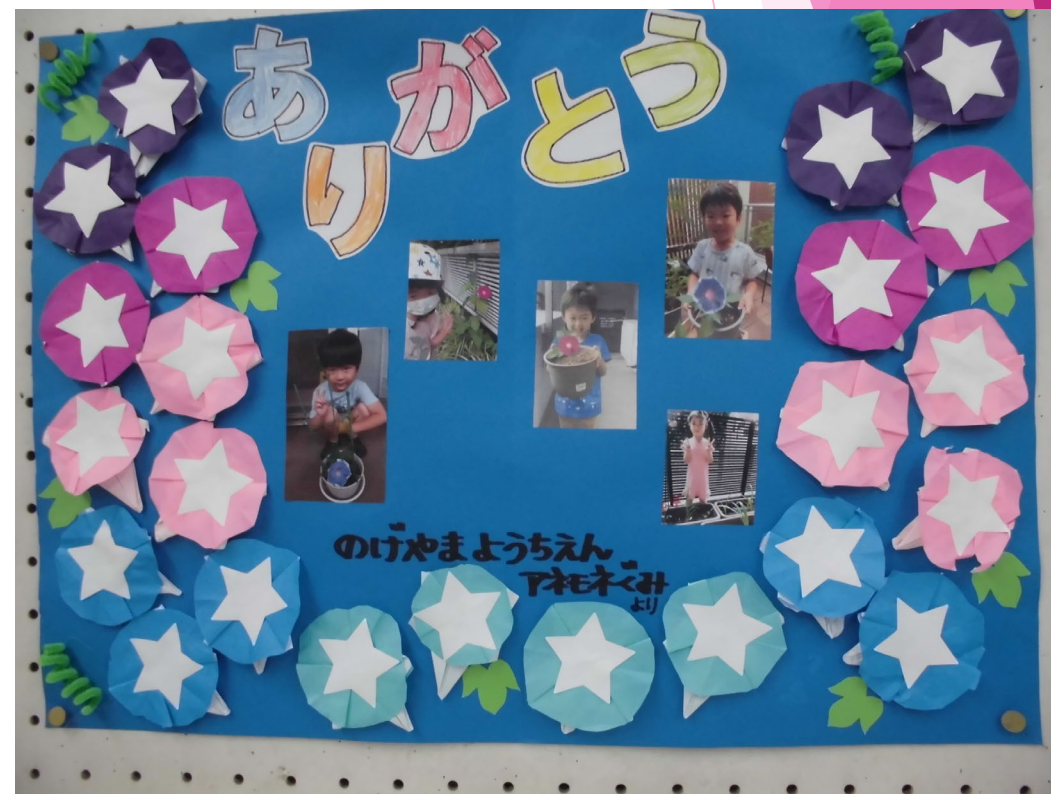
今年は、あさがおの苗を直接渡すことができました。また、園の中で一緒に遊ぶことができました。そのため、児童の中で幼稚園の友達と交流していくよいきっかけとなりました。

あさがおの花が咲いた！

あさがおの花が咲いた！



幼稚園でも咲いたみたい



あきあそびをいっしょにしよう

秋を見つけに、野毛山公園に行きました。すぐ先は、野毛山幼稚園です。「幼稚園の友達はどうしているかな。」「また一緒に遊びたいね。」と子どもたちの気持ちは高まっていました。そこで、野毛山幼稚園との交流の時間をつくり、一緒にどんぐり拾いを行いました。

秋を探しに行こう



また会えたね



一緒にどんぐりを
探そう



あきあそびをいっしょにしよう



一緒におにごっこ
をしよう



今度は学校に遊び
にきてね！

この時期に交流を設定したことで、この後の球根を植えたり、秋遊びで作ったものを紹介したりする活動でも野毛山幼稚園の友達と交流しようという気持ちを持つことができました。

入学をお花でお祝いしたいな



みんなで入学を
お祝いしよう



自分たちで選んだ
球根を植えるよ

来年度の1年生の入学をお祝いしたいという児童の声から、生活科の学習の中で球根を植えて育てました。自分たちで球根のことを調べたり、花の種類を選んだりしました。

入学をお花でお祝いしたいな



地域の人と一緒に植えたよ

どんぐりでつくったもので一緒に 遊びたい



野毛山幼稚園の友達と一緒に拾ったどんぐりを使って、いろいろなおもちゃを作りました。そのおもちゃを使って一緒に遊ぶことができました。

どんぐりでつくったもので一緒に遊ぼう



どんぐりごま



どんぐりめいろ



どんぐりケーキ



学校のことをつたえよう

「来年、入学する野毛山幼稚園の子たちに学校を案内したいね」
学校のいろいろな教室のこと、作ったおもちゃのこと、学校の勉強のことを伝えるために、
たくさん練習して本番を迎えました。



今年度を振り返って

1年間を振り返って

今年は、直接の交流など、双方向の交流ができたことが1年生にとっては大切な経験となりました。本年、計画して実施できなかった保育参観や授業参観、講演会などの実施により、教職員の交流が深まり、学びの連続性が確かなものになるよう今後の活動を計画していきたいと思えます。

子どもたちの成果と課題

- ▶ 毎年続けてきた交流が根付き、園児が小学校に上がったときに具体的にどんな交流をしたいか主体的に考えることができた。
- ▶ 園児とのかかわりを通して、自分の成長を実感したり、課題を解決したりする力が育った。
- ▶ 昨年に比べ会って話すことができ、お互いの名前を覚えることができた。
- ▶ 交流する園から入学する児童は全体の10%ほど。より多くの園と同じように交流するには・・・

教職員の成果と課題

- ▶ 年長の担任、1年生の担任は担当者会などを通して交流でき、子どもについての育ちや学びを共有できた。
- ▶ 1年生の担任だけの交流になってしまっているため、学校としての幼保小交流が行えるように工夫が必要。